

## 第86回地方本部定期大会にもとづき

# 諸課題の前進に向け、奮闘しよう

## 団結と運動への取り組みを

地方本部は、9月14日に第86回定期大会を開催し、JRの安全確保、人減らし合理化に反対、職場の労働条件改善・権利確立、闘う2025年春闘、組織の強化・拡大などをはじめとする諸課題に向けて闘う方針を確立した。

地方本部執行委員会は、第86回定期大会で決定した方針、諸課題の前進に向け、奮闘することを決意する。

1. 9月14日に開催した第1回地方本部執行委員会



において、新執行部の任務分担と、各委員会の設置を決定した。

2. 第1回地方本部執行委員会において、2024年度地方本部闘争委員会を設置した。なお構成については、地方本部執行委員、各支部執行委員長とする。

5. 各級機関は、各支部・分会大会の開催及び、執行委員会、全体集会などを開催し、第86回定期大会方針の徹底を図ること。なお、地方本部に対して参加要請があれば連絡すること。



6. 人減らし優先の「効率

化施策」に反対、安全確保の基盤となる「ゆとりある要員」を確保していくために、施策の見直しや年休の取得率向上、超勤の実態などを調査し、要員確保の闘いを展開する。また、出向者、関連企業労働者、55歳以上、再雇用組合員、グラウンドシニア社員の権利と労働条件改善をしていくために、職場での交渉体制（職場団交権の確立）に向けた闘いを強化する。また、駅の無人化反対、ローカル線廃止反対、公共交通を守る闘いについて、自治体を含め地域の仲間と取り組む。

障制度の切りすて等に対処し、地域の仲間とともに闘う。また、JAL被解雇者労働組合（JHU）をはじめ、資本からの不当な攻撃に抗し闘う仲間支援・連帯を強める。

9. 各級機関は、分会機能、運動のあり方を改めて点検し、組織強化・拡大に向け全力で取り組むこと。また、地方本部組織検討委員会を設置する。

10. 引き続き、東日本大震災における被災者への支援連帯を取り組むと同時に、原発再稼働反対、脱原発社会に向けた共同行動を創出していく。

7. 憲法9条への自衛隊明記に向けた改憲反対、「戦争法廃止」「共謀罪法廃止」の闘い。強権政治を推し進める岸田自公政権に対して、反戦・反核・反原発、平和と民主主義を守るための闘いに全力あげる。奈義町日本原基地撤去・日米共同訓練反対の闘いに奮闘していく。

11. 闘う2025年春闘の再構築に向けて、全ての職場でストラキ体制の確立を図る。

8. 「貧困と格差」社会が進む中で、岸田自公政権が行おうとする消費増税、年金の切り下げ、社会保

### 地本労働協約学習会

日時 11月1日（金）18時30分～  
場所 国際交流センター5階会議室  
内容 ①労働協約交渉の到達点  
②その他  
講師 西日本本部 大北書記長